

作業者がエンジンに吸い込まれる

2024-05-31

Q: どのような出来事ですか？

A: 2024年5月29日午後、オランダ・アムステルダムのスホーール空港でKLM航空1341便（エンブラエルERJ-190STD）を離陸のためプッシュバックしている際に、空港作業者がエンジンに吸い込まれて死亡しました。KLM航空は目撃した乗客と他の従業員の精神的ケアに努めるとともに、事故の調査を進めています。



図.1 KLMのエンブラエルERJ-190STD

Q: このようなことはよくあるのですか？

A: 残念ながら、稀なこととはいえません。昨年にも、米国テキサス州サンアントニオで27歳の空港作業者が航空機のエンジンに吸い込まれて死亡しています。

Q: これまでのところ、メディアや当局は目撃した乗客の証言から自殺と判断しているようですが、どうなのですか？

A: 複数の乗客が、作業者がエンジンに飛び込む様子を機内から目撃していたようです。この状況から、メディアや当局は作業者がエンジンの吸引力で吸い込まれたのではなく、故意に飛び込んだものと判断したようです。ですが、この外形的な状況だけで自殺と判断するのは性急すぎると思います。自殺ではなく事故の可能性も十分にあります。捜査当局は、自殺と判断する前に遺書の存在や周辺の人々の証言を捜査する必要があります。

Q: 自殺ではなく事故の可能性もあるといえる根拠は何ですか？

A: 弊社のヒューファク理論からそういえます。ヒューファク理論によれば、一時的にでも脳の顕在意識（人間脳）が失なわれて潜在意識（動物脳）になれば、デジタル情報をうまく処理できずにエラーをすることがあります。つまり、潜在意識で動物の本能に近い習性が顕在化して、突発的エラー（Sporadic Error）をするということです。

HuFac Solutions, Inc.

Q: 空港の作業者が現場で顕在意識を失って潜在意識で行動する要因は何が考えられますか？

A: いろいろあります。例えば、疲労や睡眠不足で朦朧（もうろう）としているとか、何か突発的な出来事に意識が一点集中するようなことが要因になり得ます。

Q: 作業者が衝動的にエンジンに飛び込みたくなる「動物の本能に近い潜在意識の特性」というのは具体的にどういうことですか？

A: 漁業で用いる定置網の仕組みを例に説明すればわかりやすいでしょう。定置網の「運動網」に入った魚は、他の多くの魚が細く絞られた開口部に突進するのを見て、群れに飛び込みます。その結果、すべての魚が次の「箱網」に誘導されてしまいます。因みに、定置網は「垣網」で魚の進路を阻んだ後に「運動網」に追い込むように設置されます。危険を感じた魚は陸側ではなくより深い海側に逃げようとする魚の習性（動物脳の特性）を利用しています。



図.2 定置網の仕組み

Q: 空港の作業者は、なぜ吸気口に飛び込もうとするのですか？

A: 作業者は潜在意識の視覚と皮膚の触覚で大量の空気が狭い吸気口に吸い込まれるのを感じて、空気の流れに飛び込もうとします。ヒューファク理論では「潜在意識はデジタル情報をうまく処理できない」ということですが、このケースでは「物体の進路が徐々に狭まっている人工的な状況」がデジタル情報といえます。罌取りや動物の罌なども、この原理を利用して獲物を捕獲します。デジタル情報とは、いわば人工的に造られた罌や落とし穴ということができます。最近のデジタル社会に生きる人間は、このことを深く認識しなければ思わぬリスクに遭遇することになります。

Q: 鉄道駅でも飛び込み事故が数多くあり、警察や鉄道会社はほとんどを自殺と処理していますが、潜在意識のエラーによる事故もあるということですか？

A: そうです。自殺ではなく事故というケースも少なからずあると考えています。このケースでのデジタル情報とは、高速で近づいてくる車両の車輪と線路の光景ということになります。

HuFac Solutions, Inc.

Q: 労災事故でも、同じような「潜在意識の特性」によるものがあるのですか？

A: 「挟まれ事故」や「引き込まれ事故」と呼ばれる労災事故が数多くあります。産業界や医療界、厚労省は注意喚起やマニュアルの遵守、KYT（危険予知訓練）などで防止しようとしてきましたが、効果はほとんどありません。



図.3 「挟まれ事故」と「引き込まれ事故」

Q: 何か効果的な対策はあるのですか？

A: あります。弊社の「ヒューファク安全管理」で、世界最新の安全管理手法です。「ヒューファク設計」でデジタル情報を少なくする設計を目指して、不可能か難しければ「ヒューファク訓練」でカバーします。

本情報に関する連絡先：

(株) ヒューファクソリューションズ

URL: <http://www.hufac.co.jp>

E-mail: info@hufac.co.jp